



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年7月5日

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所 東
 コード番号 3385 URL <http://www.yakuodo.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西郷 辰弘
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 小笠原 康浩（TEL）019-697-8480
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年2月期第1四半期の業績（平成29年3月1日～平成29年5月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	19,937	12.2	843	3.5	1,171	33.4	798	53.3
29年2月期第1四半期	17,776	13.3	815	33.2	878	31.0	520	46.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	40.43	—
29年2月期第1四半期	26.37	—

（注）当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	34,744	14,792	42.6
29年2月期	32,346	14,369	44.4

（参考）自己資本 30年2月期第1四半期 14,792百万円 29年2月期 14,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	41,607	10.4	1,833	6.4	2,230	20.6	1,435	24.3	72.70
通期	83,000	10.8	3,444	8.1	3,972	13.2	2,542	8.9	128.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年2月期1Q	19,741,200株	29年2月期	19,741,200株
30年2月期1Q	975株	29年2月期	975株
30年2月期1Q	19,740,225株	29年2月期1Q	19,740,588株

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(追加情報)	7
4. 補足情報	8
(1) 仕入及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られたものの、欧米などの海外情勢の変化や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の営業基盤であります東北地方においては、復興需要が収束しつつあることに加え、個人消費についても節約志向が続いており、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社は、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県に1店舗、青森県に2店舗、宮城県に3店舗の合計6店舗を新規出店いたしました。また、岩手県のドラッグストア2店舗を退店し、当第1四半期会計期間末の店舗数は225店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

また、本年1月に導入した新ポイントカード（WA!CA）による積極的な販売促進活動を推進しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は199億3千7百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は8億4千3百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。また、受取補償金を営業外収益に計上したことから、経常利益は11億7千1百万円（前年同四半期比33.4%増）、四半期純利益は7億9千8百万円（前年同四半期比53.3%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

① ヘルスケア部門

医薬品は感冒薬や健康食品等が伸張り、衛生用品では介護用紙おむつ等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比6.2%増加し、45億2千3百万円となりました。

② ビューティケア部門

化粧品は制度化粧品や男性化粧品等が伸張り、トイレタリーではヘアケアやオーラルケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比11.0%増加し、34億3千4百万円となりました。

③ ホームケア部門

日用品は衣料洗剤、柔軟剤や家庭紙等が伸張り、衣料品では寝装、服飾商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比15.8%増加し、25億5千3百万円となりました。

④ コンビニエンスケア部門

食品は飲料、菓子、日配品等が伸張り、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比14.7%増加し、94億2千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の流動資産は155億1千7百万円となり、前事業年度末に比べ18億2千1百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が9億2千7百万円増加したことと新規出店等に伴う商品の増加が5億7千6百万円あったことがあげられます。

固定資産は192億2千6百万円となり、前事業年度末に比べ5億7千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が5億3千1百万円あったことがあげられます。

この結果、資産合計は347億4千4百万円となり、前事業年度末に比べ23億9千7百万円の増加となりました。

流動負債は148億5千1百万円となり、前事業年度末に比べ15億8千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、買掛金が15億8千3百万円増加したことがあげられます。

固定負債は51億円となり、前事業年度末に比べ3億8千9百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規借入れにより長期借入金が3億4千7百万円増加したことがあげられます。

この結果、負債合計は199億5千2百万円となり、前事業年度末に比べ19億7千5百万円の増加となりました。

純資産合計は147億9千2百万円となり、前事業年度末に比べ4億2千2百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加が4億2千2百万円あったことがあげられます。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成29年4月7日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,683	2,611
売掛金	248	345
商品	10,373	10,950
貯蔵品	16	11
その他	1,374	1,598
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,696	15,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,696	13,294
土地	686	686
その他(純額)	1,439	1,373
有形固定資産合計	14,822	15,354
無形固定資産		
	200	212
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,543	2,549
その他	1,083	1,111
投資その他の資産合計	3,627	3,660
固定資産合計	18,650	19,226
資産合計	32,346	34,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,185	9,769
1年内返済予定の長期借入金	1,953	2,053
未払法人税等	761	451
賞与引当金	391	236
ポイント引当金	167	180
店舗閉鎖損失引当金	81	75
その他	1,724	2,084
流動負債合計	13,265	14,851
固定負債		
長期借入金	3,650	3,997
資産除去債務	814	853
その他	245	249
固定負債合計	4,710	5,100
負債合計	17,976	19,952

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,331	1,331
利益剰余金	11,957	12,380
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,368	14,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
純資産合計	14,369	14,792
負債純資産合計	32,346	34,744

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	17,776	19,937
売上原価	13,716	15,318
売上総利益	4,059	4,619
販売費及び一般管理費	3,244	3,775
営業利益	815	843
営業外収益		
受取利息	7	6
受取事務手数料	28	29
受取補償金	—	※ 253
固定資産受贈益	13	15
その他	19	26
営業外収益合計	69	332
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	6	4
経常利益	878	1,171
特別損失		
退職給付制度終了損	37	—
特別損失合計	37	—
税引前四半期純利益	840	1,171
法人税、住民税及び事業税	331	401
法人税等調整額	△11	△27
法人税等合計	320	373
四半期純利益	520	798

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※受取補償金の内容

当第1四半期会計期間において、当社は大船渡駅周辺地区土地区画整理事業の支障となる大船渡茶屋前店の除却等を内容とする「物件移転補償契約」および「損失補償契約」を大船渡市と締結いたしました。

これに伴い、大船渡市より補償金305百万円を受領しております。なお、受領した補償金から建物等の除却に伴い発生する固定資産除却損41百万円と解体費用等9百万円を控除した金額を「受取補償金」として計上しております。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第1四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	3,051	21.3	3,222	20.3	+5.6
ビューティケア	2,404	16.8	2,669	16.8	+11.0
ホームケア	1,839	12.9	2,159	13.6	+17.4
コンビニエンスケア	6,999	49.0	7,841	49.3	+12.0
合 計	14,295	100.0	15,893	100.0	+11.2

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第1四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	4,258	24.0	4,523	22.7	+6.2
ビューティケア	3,092	17.4	3,434	17.2	+11.0
ホームケア	2,205	12.4	2,553	12.8	+15.8
コンビニエンスケア	8,219	46.2	9,426	47.3	+14.7
合 計	17,776	100.0	19,937	100.0	+12.2

ロ. 地域別販売実績

当第1四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青 森 県	2,172	12.2	2,392	12.0	+10.1
秋 田 県	1,875	10.6	2,281	11.4	+21.7
岩 手 県	7,838	44.1	8,418	42.2	+7.4
宮 城 県	4,587	25.8	5,317	26.7	+15.9
山 形 県	1,302	7.3	1,527	7.7	+17.3
合 計	17,776	100.0	19,937	100.0	+12.2